

『国指定登録有形文化財大野屋旅館見学と食事』



今月は正五九詣りの月、寺に参詣するとより良い功德を得られるとされています。今日は 28 日お不動様の日でもあります。

前日まで雨続きでしたが、朝からお日様が輝き、秋晴れのまち歩きとなり、参加者 29 名。表参道を歩きながら、時折、立ち止まりお店の紹介、薬師堂をお守りする前掛け姿の愛らしい狛犬や、つい見逃しがちな「道路元標」を見て、成田小学校信号から細道に入り、出世稲荷、聖天堂、釈迦堂の見どころなどを紹介しました。

釈迦堂の五百羅漢を制作した松本良山は、奥様や弟子を連れ、大野屋旅館に 10 年間逗留して大変な事業を成し遂げました。

そして、いよいよ、望楼付き大野屋旅館に 11 時 15 分頃到着。藍染の大野屋半纏のおかみさんのお出迎えを受け感激！冷たい井戸水の接待は、歩き疲れ汗した体を癒してくれました。

創業は江戸中期、現在の建物は 2 代目で、昭和 10 年建築。望楼付木造 3 階建て、黒柿の欄間など、各所に銘木が使われています。時代の有名人が宿泊したこと、飾り格子の窓や、スタンドガラスのある洋間の説明、昔の道具や客室の再現、3 階の 60 畳、54 畳の大広間の能舞台などを見学しました。築 80 年の大野屋旅館の建物や歴史にふれ、文化財の課題やすばらしさを堪能しました。

しばし、古に戻り、着物姿の旅人や、能を楽しむ旦那衆になったり、急階段を何度も上がり降りする女中衆の足音が聞こえてくるような気分になったり、建物全体に歴史があふれています。また、3 階からの仲之町や成田山の新たな見え方も一見の価値あります。

江戸っ子のおかみさんのはつらつとした説明とユ-EPを交えた会話には、その場の空気がホト和み、楽しむことができました。これからも、ご近所観光を楽しむ市民目線の企画をしていきたいと思いました。

